

平成 22 (2010) 年さけます来遊状況 (第 4 報 : 10/31 現在)

独立行政法人水産総合研究センター -  
さけますセンター -

8 月下旬から開始された北海道沿岸の秋サケ定置網漁業は終漁期を迎えており、11 月以降における漁獲の中心は本州地域や北海道のえりも以西海区等に移ることとなります。

「さけます来遊状況」の第 4 報として、10 月 31 日現在の北海道のカラフトマス及び全国のサケの来遊状況等についてお知らせします。

なお、来遊状況の取りまとめに当たって、迅速な情報提供などにご協力を頂いた道県及び増殖団体の関係者に感謝いたします。

### 1 カラフトマス来遊状況 (今回で概要報告は終了)

- ・来遊数は 731 万尾 (対前年比 : 65.8%、平年比 : 75.8%)
- ・今年是不漁年に当たるが、2004 (平成 16) 年以降の不漁年の中では最も多い
- ・オホ - ツク海区を含む日本海側では 674 万尾、根室海区を含む太平洋側では 57 万尾

(北海道)

10 月 31 日現在、北海道のカラフトマス来遊数は 731 万尾 (対前年比 : 65.8%) と昨年を大幅に下回っています。これはカラフトマスが隔年で資源変動する特徴があり、今年が不漁年に当たるため、平年 (1989 (平成元) 年 ~ 2009 (平成 21) 年の平均) 比では 75.8% となっています。豊漁年と不漁年が入れ替わった 2004 (平成 16) 年以降の不漁年 (偶数年) の中では最も多い来遊数となっています (表 1、図 1)。

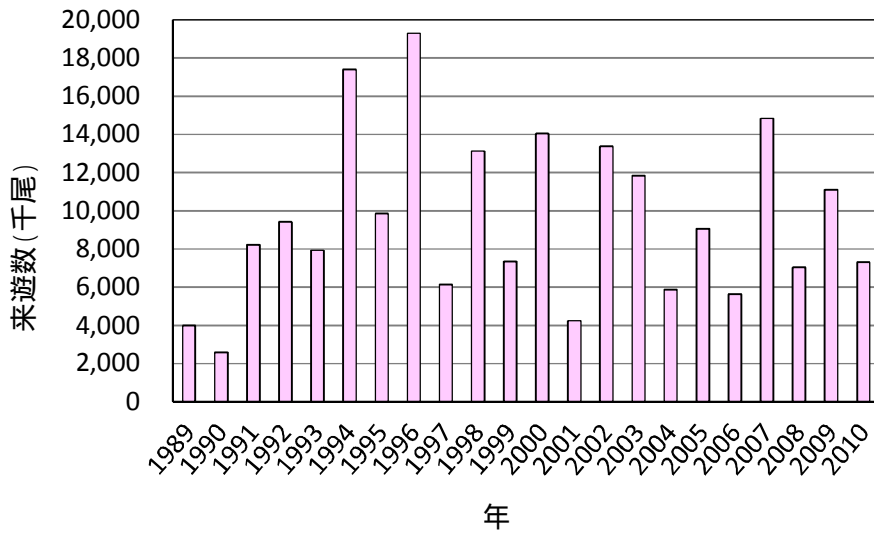
地域別にみると、日本海側 (オホ - ツク海区及び日本海区、以下同) では 674 万尾 (対前年比 : 64.1%、平年比 : 91.5%)、太平洋側 (根室 ~ えりも以西海区、以下同) では 57 万尾 (対前年比 : 95.8%、平年比 : 42.6%) となっており、太平洋側では長期的な減少傾向が見られるとともに、隔年変動の幅が小さくなっています。

表 1 : カラフトマス来遊状況 (北海道)

単位 : 万尾

	来遊数	沿岸漁獲数	河川捕獲数
	最終	最終	最終
2010 (H22)	731	644	87
2009 (H21)	1,111	979	131
2008 (H20)	704	612	92
2007 (H19)	1,491	1,347	144
2006 (H18)	559	465	94
平年(H元-21)	964	864	101

図1 カラフトマス来遊数



カラフトマスの来遊時期は奇数年には早く、偶数年には遅くなる傾向があります。旬別来遊数をみると、2008（平成 20）年と比べ、8月中旬までは75%程度と低調な出だしでしたが、下旬に120%程度と増加に転じ、9月上旬以降は若干上回る状況で推移しています（図2-1、2-2）。沿岸漁獲及び河川捕獲のピークは、来遊時期が早かった前年と比較して1旬程度遅れ、それぞれ8月下旬、9月上旬となっています（図3）。

図2-1 カラフトマス旬別来遊数

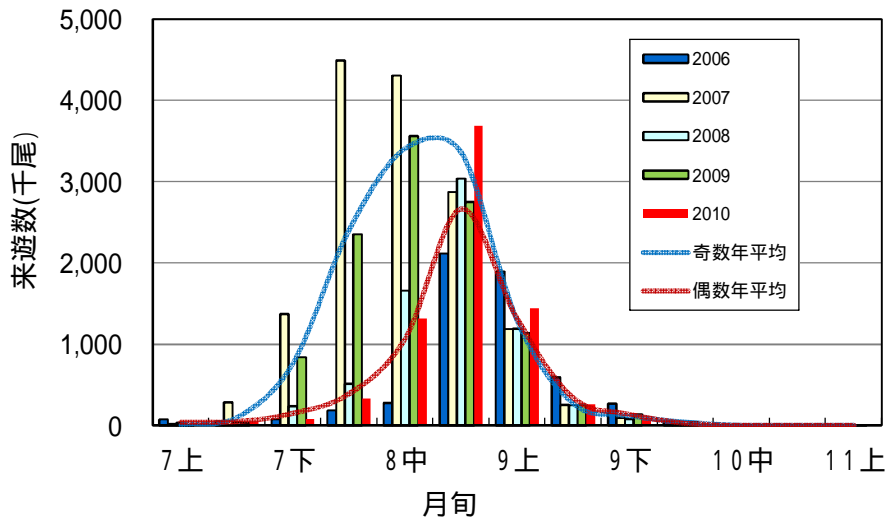


図2-2 カラフトマス旬別累積来遊数

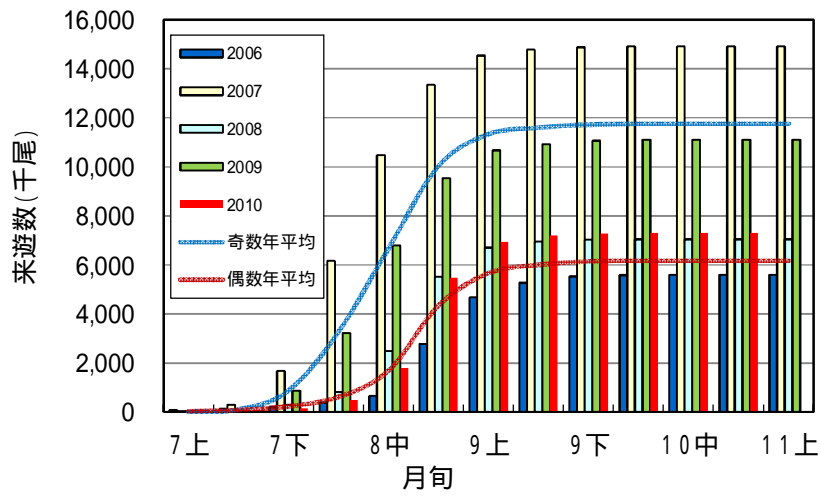
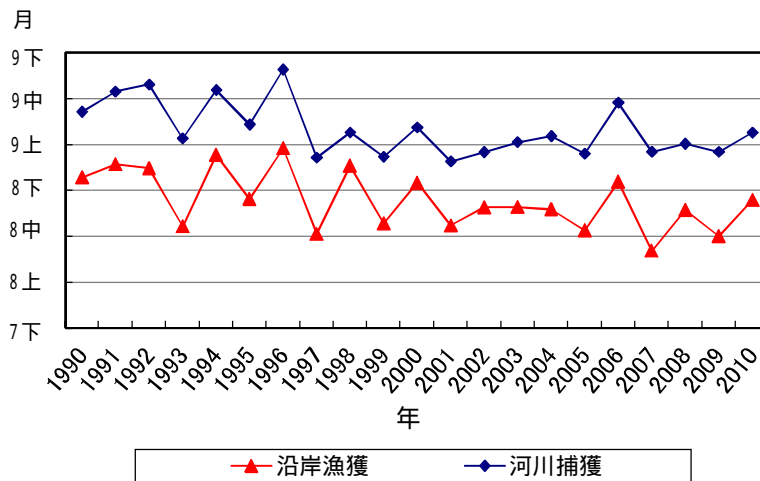


図3 沿岸漁獲及び河川捕獲の重心



カラフトマスの河川捕獲数は、不漁年の影響等により 87 万尾（対前年比：66.4%、平年比：86.1%）と下回りましたが（表 1）、自主規制措置等による親魚の確保努力並びに種卵の需給調整が行われた結果、全ての地区においてふ化放流計画に必要な種卵が確保されています。